

「D-アミノ酸による推定糸球体濾過量：小児から成人まで適用可能な統一式の確立」へのご協力のお願い

研究代表者 仲川 真由

研究分担者 森下 俊真

研究機関名 順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科・思春期科

このたび、当院では上記の医学系研究を、順天堂大学医学部倫理委員会の承認もと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さん・保護者の方へ向けて、情報を公開しております。なお、この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2022年4月8日から2023年4月30日までの期間に、「小児期の慢性腎臓病の患児におけるD/Lアミノ酸の検討」（研究承認番号：E22-0031）にて参加の同意を頂けた方。なお、保護者の方から本研究への不参加の申し出があった方は、対象から除外いたします。

2 研究課題名

承認番号 E25-0415

研究課題名 D-アミノ酸による推定糸球体濾過量：小児から成人まで適用可能な統一式の確立

3 研究組織

研究代表機関 研究代表者

順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科 助教 仲川 真由

研究分担者

小児科 非常勤助教 森下 俊真

共同研究機関 研究責任者

大阪大学 大学院医学研究科 准教授 水井 雅之

研究分担者

招聘准教授 木村 友則

4 本研究の目的、方法

本研究の目的は、体の中にごく微量に存在する「D-アミノ酸」という物質を利用して、腎臓の働き（糸球体濾過量：GFR）をより正確に推定する新しい方法を開発し、その有用性を大人から子どもまで幅広い年齢層で確かめることです。しかし、これまでのGFRを推定する式（eGFR式）は、年齢や体格によって誤差

が生じやすく、特に小児や高齢の方では正確な評価が難しい場合がありました。

本研究では、成人の方のデータから作られた新しい算出式を小児にも当てはめて検討し、年齢や体格の影響を受けにくい「誰でも公平に使える腎機能評価法」の確立を目指します。

この研究が進むことで、社会的には小児から高齢者、さらには腎移植後の方まで、一貫して正確な腎機能評価を行うことができ、より適切な治療や医療資源の活用につながると考えられます。

また学術的には、D-アミノ酸という新しい指標を医療の現場に応用し、これまで必要とされてきた「年齢や体格による補正」を行わずに評価できる新しい腎機能推定法を提示することが期待されます。

5 協力をお願いする内容

2022年4月8日から2023年4月30日までの期間に、「小児期の慢性腎臓病の患児におけるD/Lアミノ酸の検討」（研究承認番号：E22-0031）に御参加されたお子様の下記のデータについて、大阪大学大学院医学研究科へ情報提供を行います。

具体的には生年月日、検査を行った日付、性別、身長・体重、既往症の病名、血液検査・尿検査のデータなどです。この研究への参加により、患者さんに新たな負担や危険性が発生するものではありません。研究への不参加を希望されてもお子さま、保護者の方に不利益は生じません。

この研究は、順天堂大学医学部小児科学講座の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

また、この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者等に帰属し、あなたには帰属しません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027年12月31日

7 外部への試料・情報の提供

試料の提供は行いませんが、大阪大学 大学院医学研究科に上記の情報の提供のみを行います。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

本研究についてご不明な点がある場合や、研究への情報利用を希望されない場合は、保護者の方より下記連絡先までお知らせください。

対応者：仲川 真由（なかがわ まゆ） / 森下 俊真（もりした としまさ）

所属：順天堂大学医学部小児科学講座

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 3-1-3

電話：03-3813-3111（営業日の9時から17時まで）

以上

D-アミノさんによる すいてい しきゅうたいろかりょう ：しょうに から せいじん まで てきよう かのうな とういつしき の かくりつ

どんなけんきゅうなの？

じゅんてんどうびょういんでは、じんぞう（からだのなかの ろかをする ところ）の はたらきを しらべる けんきゅうを しています。

「D-アミノさん」という とても すくない ぶつしつを つかって、じんぞうの はたらきを もっと せいかくに はかる ほうほうを つくる けんきゅうです。

おとのひとの けんきゅうで つくられた けいさんしきを、こどもにも つかえるか しらべます。

なにをすればいいの？

このけんきゅうでは、あたらしく けんさを したり、ちりょうを ふやしたり することは ありません。これまでに とった けんさの けっか（せいべつ・しんちょう・たいじゅう・けつえき けんさ など）を つかって けんきゅうを します。

その けっかを、おおさかだいがくの せんせいたちと きょうりょくして しらべていきます。

けんきゅうがいやなときは？

このけんきゅうにさんかしたくないときは、おうちのかた（おとうさん、おかあさん）にはなして、びょういんのせんせいにもうしてもらってください。

そのことで、びょういんでのしんさつやけんさがそれまでとかわることはありますので、ごあんしんください。